



南の風



根気強く こつこつと！

朝晩は涼しくなってきましたが、日中は汗ばむ日もあり、秋はどこへいったのか、と思う10月のスタートです。2学期の生活も充実期を迎え、子どもたちは学習に生活に充実した毎日を送っています。林間学校や校外学習、学習参観など多くの行事がある中で、一層充実した生活を送ってほしいという思いを込めて、昨日の全校集会では次のような話をしました。

みなさんは、何か一つ長く続けていることはありますか？例えば、「帰ってきたらすぐに宿題をやる」「毎日読書をする」「黙って掃除をする」「家のお手伝いを必ずやる」など、続けることは特別なことでなくて構いません。とにかく一つのことを「続ける」ということをしてほしいのです。

「続ける」ということについて、アンパンマンの作者やなせたかしさんは、「好きなものであればこつこつ努力することも 決してつらくはありません。(中略)自分のやりたいことをずっと続けてやめないこと(『明日をひらく言葉』PHP文庫より)」と言っています。やなせたかしさんが、絵本「アンパンマン」を刊行したのは、54歳の時。続編の「それいけ！アンパンマン」を刊行したのは56歳の時。この頃からアンパンマンの人気が出始めます。テレビでアニメ放送がされたのが69歳の時。地道に着実に一步一步描き続けた結果、多くの人から愛される作品を生み出すことができたのです。

何か一つのことを物事に流されず、変わらない情熱をもって続けていくことは、簡単なことではないと思います。やりたくない時や休みたいときもあるでしょう。しかし、続けていく中で、新しい発見や面白さに出会い、さらにやり続けることで上達したり、成長したりできます。

先月「ぞうきんになりたい」の詩を紹介したところ、こんな嬉しい出来事がありました。修学旅行でのことです。昼食が終わった後、ごみが落ちていないか確認している時、自分のティッシュペーパーをさっと取り出し、テーブルの下に落ちていたゴミを拾っている児童がいました。なんともさりげない姿に感心させられました。また、3年生の校外学習でも体験活動の後、自分の使った机の下のゴミ拾いをしている児童もいました。さらに、先日、昇降口の落ち葉掃きをしようとしたら、挨拶運動をしていた生活委員の皆さんがすぐに手伝ってくれました。このように、人のために自ら考えて自ら行動できることは、本校が目指している力の一つです。

何をするにも活動しやすい季節になりました。子どもたちが、自分の好きなこと、目標にしていることなどに向かって、根気強くこつこつと、一つのことをやり続けて、大きく成長する姿を見守っていこうと思います。

<学校教育目標>

『自ら考え判断し、
表現する子』

【目指す児童像】

- 自ら考える子
- 自ら判断する子
- 自ら表現する子

